

## 「平成29年度静岡県総合防災訓練」に参加

自衛隊静岡地方協力本部（本部長・定免克己一等空佐）は、8月31日（木）と9月3日（日）に実施された「平成29年度静岡県総合防災訓練」に参加した。

この訓練は、南海トラフ巨大地震をはじめとした大規模地震が県内などで発生した場合を想定し、地域防災計画等に基つき災害応急対策の検証及びその理解・習熟を図るとともに、国、市町及び防災関係機関との連携を一層強化することを目的としている。

8月31日（木）に静岡県庁別館（静岡市）で実施された本部運営訓練では、大規模地震発生から24時間後を想定し、静岡県庁への連絡員などの派遣訓練を実施し、付与されるさまざまな被害想定に対し、静岡県や各関係機関及び自衛隊の各部隊と連携し、災害応急対策の検証・習熟を図った。

また、9月3日（日）に静岡県南駿地域で実施された実動訓練では、自衛隊を含む各防災関係機関が負傷者の救出・救助訓練や避難所運営訓練などを実施し、静岡地本は、裾野市運動公園で実施されたヘリポートの開設・運営訓練及び県立沼津商業高等学校（沼津市）で実施された炊き出し訓練などに参加した。

静岡地本は、今回の訓練を通して関係機関との連携要領などを再確認し、今後も連携強化を図るとともに、各種事態等の対応に迅速に対応できるよう万全を期す。



## 「未来授業」で小学生に自衛隊を紹介

自衛隊静岡地方協力本部（本部長・定免克己一等空佐）は、9月11日（月）、掛川市立横須賀小学校で行われた「未来授業」に参加した。

未来授業とは、一般社団法人「未来学校」が主催するもので、子供がさまざまな職種の大人から話を聞き、将来の夢や自らの可能性を広げることが目的に行われている。

当日は、法律家やプロフットサル選手など10人の講師が集まり、約30分の授業を3回、それぞれ講師一人に10人ほどの生徒が参加する形で行われ、静岡地本からは広報官の佐々木2等海曹が講師として参加した。

授業では、最初にそれぞれが自己紹介を行い、その後、スクリーンで災害派遣など自衛隊の任務に関する活動写真や護衛艦などの装備品の写真を映しながら、自衛隊の仕事内容ややりがいなどを丁寧に説明した。

また、質疑応答では「なぜ自衛官になろうと思ったのか」などの質問があり、自身の体験談を語る佐々木2曹の話に児童たちは興味深く耳を傾けていた。

佐々木2曹は最後に「国防と言つと固い感じがするが、大切な友達や家族を守ることが自衛隊の仕事」と締めくくった。児童からは「海上自衛隊にも飛行機があるなんて知らなかった」「自衛隊に興味を持ったので、浜松基地のエアフェスタに行ってみたい」などの感想が聞かれた。

静岡地本は、今後も静岡県内の学校と積極的に交流し、自衛隊に対する認識と理解の向上に努め、若者が描く未来の夢や可能性の拡大結実に貢献していく。

